

新玉地区タウンミーティング(要約)

平成26年1月19日(日曜日)

【市長】 皆さん、こんにちは。今日は休日で本来でしたらおくつろぎの時間帯かと思えますけども、このように大勢の方がご参加をいただきまして、ありがとうございます。このタウンミーティングの開催にあたりましては、新玉公民館の館長をはじめ、役員の皆様には、ご協力をいただきました。ありがとうございます。今日の会場ですけれども、新玉ならではの感じがいたします。松山市の施設でコスモシアターといいます。四国最大級のプラネタリウムになります。上のスクリーンに普段でしたら星座などを投影いたしまして、理科の学習などにも使っているところがございます。実はこのタウンミーティングですが、今日は城西中学校や済美高校の皆さんも参加してくださっていると聞いていますけど、1巡目には来られてない方もいらっしゃるのご説明を申し上げますが、このタウンミーティングは2巡目に入っています。松山市は41地区に分かれます。旧北条市、旧中島町合わせて41の地区があるわけですけれども、私が市長に就任させていただいてから始めました。市役所で待っているのではなくて、各41地区にそれぞれ出向かせていただいて、各地区にはそれぞれお困りの点もあるでしょうし課題もあるでしょうし、またそれぞれ魅力もあると思いますので、それを聞かせていただこう。そしてできることから、すぐさま市政に反映していこうという思いで始めました。この松山市のタウンミーティングの特徴は聞きっぱなしにはしない、やりっぱなしにはしないのが松山市版のタウンミーティングの特徴でございます。皆さんからいただいたご意見とかご質問に対しましては、1巡目もそうでしたけども、できる限りお答えをさせていただきます。なお、例えば松山市だけの問題じゃなくて、国とかかわる問題とか、県とかかわる問題とか、また財政的な問題があるものは、ここですぐさまいい加減なお答えをするわけにもまいりませんので、いったん持ち帰らせていただいて、1カ月を目途に必ず地区にお答えを返します。聞きっぱなしにはしない、やりっぱなしにはしない、いわゆるガス抜きではありませんで、またパフォーマンスだったら1巡で終わっていたと思うんですけども、2巡目に入っております。常に皆さんの声に誠実に耳を傾けて、そして誠実に取り組んでいきたいという思いのあらわれでございます。この新玉地区ですけれども、平成32年の完成を目指して、今JR松山駅の高架化と松山駅の周辺整備事業が行われているところで、まちの姿が大きく変わろうとしているところですので、皆さんもさまざまなご意見があろうかと思えますが、どうぞ教えていただいた

らと思っています。今日は中学生や高校生の皆さんも来られていますので、90分という時間でございます。やはり緊張するとさすがに疲れてしまうと思いますので、ざっくばらんな意見交換ができれば、前向きな意見交換ができればと思いますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

【中学生】 城西中学校です。こんにちは。姉妹都市との交流のことですが、具体的にどのような交流をしているのかあまり情報が入ってこないもので、そこら辺のことを検討していただけたらと思います。

【市長】 はい、わかりました。今、姉妹都市・友好都市でいうと三つの市があります。まず歴史が深いのでいうと、アメリカのサクラメント市になります。一昨年に30周年を迎えましたので、私も行かせていただきました。そして去年25周年を迎えたドイツのフライブルク市、そして韓国の平澤市は今年10周年を迎えます。去年、25周年でフライブルク市に行ってみりました。今年は平澤市に行く予定があります。このように市長同士とか市民の方の交流をやっているのと、中学生の皆さんは、それぞれ夏休みに松山から姉妹都市にお互い送りあう制度をとっております。あんまりその情報が届かないかな。逆に市のホームページとかで調べたことはあるかな。あるか。でもわかりにくいかな。わかりました。じゃあ、もう少しわかりやすい情報提供ができないか、早速検討させてもらいます。国際交流協会とかあるんですけども、もう少し皆さんに情報が届くやり方を考えたいと思います。ありがとうございました。

【男性】 済美のところの高架の説明がありましたけど、300メートルの傾斜がどうやこうや言ったんですが、技術的には可能なんですか。

【市長】 300メートルと申し上げたのは、環状線と新空港通りの交差点のところ、下水処理場が角にあります。あそこが4車線の20メートル、そして急な傾斜をつけるわけにもいかないんで、300メートルぐらい必要で、1平方メートルあたり40万円ぐらいはかかるということから考えると、試算しただけで24億円。あのあたりを高架化しようとする、約30億円ぐらいかかってしまうことになります。ちなみに小坂の交差点の高架化が38億円です。今、外環状線をつくっているんで、また交通の流れが変わるでしょうから、それを見てまた考えさせていただくと。やはり一時にお金をかけるわけにもなかなかいかないんで、配分をしながらという形になります。なお、鉄道の高架化の話ですけども、これも詰めた話をさせていただいております。試算をしたんですけども、前回いただいております新玉校区で郊外電車の踏切が11カ所ある。ここを高架化してくれると渋滞も緩和されるという話ですけども、新玉地区の特殊性と申しますか、市駅が近いです。市駅が近いので新玉地区を高架化すると、あま

り距離がないので一編下げてっていうのがなかなか難しくなる。そうなる
と市駅を高架化しないとイケなくなる。市駅を高架化するにはどうすれば
いいかっていったら、高島屋さんにのいてもらうのかってなると、これは
現実的にかなり難しい話になる。そうなる、高浜線は横河原線と直通で
すから横河原線も上げる必要が出てくる。高浜線だけ上げて下ろしてて
いうことにもならないので、高浜線だけじゃなくて横河原線にも波及して
くる話になる。そうなる、高浜線と横河原線が上がって郡中線がそのまま
かっていうことになると、郡中線のこと考えないといかんで、かなり
莫大な費用になってしまうというのが現状でございます。これも松山外環
状道路を整備させていただいて、交通の状況見ながら今の状況になりま
す。

【都市政策課長】 都市整備部都市政策課の松本と申します。少し補足を
させていただきます。現在JR松山駅の高架化で、愛媛県が事業主体とな
ってJR予讃線2.4キロ高架の事業を進めております。この鉄道の高架、
そして松山外環状線、鉄道高架の目標が平成32年度で進めております。
鉄道高架をする場合にJRを優先しているわけですけれども、松山の鉄道
高架検討協議会の中で、今後伊予鉄についても協議を進めると平成12年
度に方針が出ておりますので、特に済美高校の前、非常に混雑しており市
民の皆さんが大変困っているのは十分認識しておりますので、検討してい
きたいと考えております。

【市長】 私も済美高校のところの交差点、鉄道と道路が高架になってい
ればスムーズだろうな、待つこともなく渋滞もなくと思うんですけども、
やはりお金の面を考えるとなかなか一時にいかない現状です。でも、何も
しないわけではなくて、しっかりと見ながら進めていきたいと思っていま
す。

【中学生】 城西中学校です。通学路の途中にホームレスの方がいらっし
やるのですが、通学生に影響があるかもしれないので、対処などあれば教
えていただきたいと思えます。

【市長】 はい、わかりました。具体的な場所って言うてもらえますか。

【中学生】 フライブルク通りの地下道です。

【保健福祉政策課長】 保健福祉政策課高橋です。よろしく申し上げます。
ホームレスを減らす活動ですが、市民とか施設の管理者などからの情報や、
ほかに警察とか市役所からも情報を収集しております。そういう中で、随
時、生活福祉課の職員が該当箇所へ直接訪問します。ホームレスの方と面
談を行いまして、生活保護制度の説明とか在宅生活、お家に帰る、戻るよ
うな説得をしております。それと、年1回生活福祉課の職員が市内全域、

例えば公園とか橋の下とかを対象として、警察とか国土交通省の協力を得まして、ホームレスの方と面談して健康状態の確認とか、生活の相談とか、生活保護の説明などを行っております。説得をする中で、生活保護を受給することを拒む方がおられます。例えば住居を構え、在宅で生活ができるような支援策、緊急的な対応として市内に2カ所借り上げ住宅も確保しております。それと帰る先がある方に対しては、早く帰宅して生活をするよう説得をしてるんですが、生活保護の申請はあくまで本人の意思表示が必要となります。強制的に退去させることは非常に難しいです。関係機関とも協力して、継続して直接訪問して、面接等も実施しております。そういう取り組みをした結果、松山市で把握している市内のホームレスの方の人数は、年々減少傾向となっております。昨年1月の時点では20名程度となっております。先ほど教えていただいた箇所も、早速直接現場へ行ってホームレスの方を説得させていただきたいと思っております。

【市長】 皆さん御存じのように市役所の下には地下の駐車場があって、そこにもホームレスの方いらっしゃるんですね。市役所のすぐそばですから絶対寒いですよ。今、申し上げたようにシェルターといって緊急の避難場所というか、ちゃんとお部屋があるんですよ。そういうところだと、あったかいですからそういうところにと、実際に会って職員が話をするんですけども、もう構わんとってくれとか、生活保護の申請もできるんですよみたいなお話をしても、自分で申請してもらわないことには強制ってできないところがあって、対応に苦慮しているんです。だからといって、もう何もしないではなくて、やはり人対人ですから、何度も足を通うことによっては、また心が通じる場所もあると思いますので、それで終わりじゃなくてこれからも粘り強くやっていきたいと思っております。

【高校生】 済美高校です。こんにちは。よく自転車を利用するのですが、自転車専用道路があると思うんですけど、それが増えるところとか、もしあるようでしたら教えていただきたいと思うんですが、どうですか。

【都市政策課長】 都市整備部都市政策課の松本です。松山市では自転車ネットワークの計画、策定を昨年8月に行いました。最近のマスコミでも、よく自転車の走行について取り上げられることがあります。松山市としても、できるだけ自転車が通りやすい整備を行っていききたいということで、ただ、現在ある道路を拡幅するとなると用地買収等が発生して非常にお金がかかることとなりますので、基本としては現在ある道路幅員の中で、自転車が通る走行レーンを表示したり、例えば現在だと196号から道後へ向かう平和通りの南側と北側に自転車が通れるようにしておりますけれども、そういったことを市内の中心部で進めていくようにしております。

あと新設の大きな幹線道路、例えば現在、松山駅周辺の土地区画整理事業を進めておりますが、東側の駅前広場を拡張し、西側にも新しく駅前広場をつくって、西側からも駅を利用できるようにするんですが、その駅前広場を囲むように30メートルの4車線道路をつくるようにしております。そこには自転車専用の通行帯をつくりたいということで、新設の幹線道路ではそういったところも検討していきたいと考えております。

【市長】 私から補足説明をさせていただきます。基本的に、できるだけ歩く人に、また自転車に配慮したまちづくりをしていきたいと思っています。それはなぜかというと、色んな意味合いがあるんですけども、例えば松山が坂の多いまちだったら、できるだけ歩いてください、自転車で走ってくださいとは言わなかったと思います。坂の多いまちだったらしんどいですよね。また、松山が雨がよく降るまちだったら、歩いてください、自転車で走ってくださいとは言わなかったと思います。また、松山が雪が積もるまちだったら、歩いてください、自転車で走ってくださいとは言わなかったと思います。これからは少子高齢化の世の中ですから、病気はやっぱり自分もつらいですし周りの方もつらいですから、できるだけ健康長寿を伸ばしていきたいと思っています。そのためには、日ごろから歩いていただくこと、また体を動かしていただくこと、高齢になるとどうしても血管が細くなってくるんです。もし血管が破れて脳梗塞になったりする、体が不自由になることもあります。高齢化が進むと、ますますそういう例も多くなってくるとは思います。体が不自由になって外が歩きにくかったら、家に閉じこもりがちになりますね。体が不自由になられたとしても、できるだけ歩いていただいたほうが、お医者さんの話によると歩いたほうが回復が早いということで、歩きにくいまちではいかなので、できるだけ歩く人に配慮したまちづくりをやっていこうと思っています。それと松山には路面電車、全国には1,800の市町村があるんですけど、わずか路面電車は17都市にしか走っていないんです。100都市に1都市ぐらいの割合です。公共交通を使って移動ができますから、車がないと移動ができないまちではないので、そういう歩く・自転車・公共交通の組み合わせができるまちなので、これから我々としては歩く・自転車といった、環境に配慮したまちづくりをやっていきたいと思っています。ただ、先ほど申し上げたように、もともとの道幅が狭いところだったら、広げようにも沿道の方々に理解を求めないといかんですよね。「下がってください、その土地を買わせてください」ってなりますよね。あるところだけ膨らんだとはいかんです。ずっとその沿線を買わせてくださいっていうことになりますから、その土地を持っている方にご理解をいただかないといけないのと、その土

地を買うお金が要る形になりますので、長期の計画を持った中でやっていかなければならないと思っています。できる限りその方針では進めたいと思いますのでご理解ください。また、具体的に危ないところがあったら、ハードがだめならソフト対策ができますから、今日地図を持ってきていますので、皆さん危ないところがありましたら、遠慮なく教えていただいたらと思います。

【中学生】 城西中学校です。私は南江戸公園のトイレを遊具側にもつけてほしいと思っています。今、南江戸公園には遊具側とテニスコート側がありますが、テニスコート側のトイレに夏に車椅子用のところにホームレスの人がずっといたりして、遊具側のほうから小さい子がトイレに来るのには、衛生面でも安全面でも少し心配があるなと思ったからです。遊具側にトイレをつけることで、お母さんも子どもも安心して公園で遊ぶことができますと思います。

【市長】 はい、わかりました。さっきフライブルク通りのところのホームレスの方のお話がありましたが、南江戸公園にもホームレスの方はいらっしゃる。

【中学生】 地下道にいるホームレスの方が昼間に南江戸公園にいて、暑いからトイレに夏はいるんだろうなど。

【市長】 なるほど。また福祉と情報を共有します。南江戸公園がどうしてそういうトイレの配置になったのかは、わかりますかね。

【都市政策課長】 公園のトイレですけれども、例えば総合公園や城山公園あるいは坊っちゃんスタジアムがある中央公園といった広い公園と、例えばコミセンの北側に幸町公園といった身近な公園、それから南江戸公園もそんなに小さくないんですけども、大規模ではない比較的小さい公園ではトイレは一つとさせていただいております。私も現場を見させていただいて、確かに南側はテニスコートや広場があり、道路渡って北側には遊具等があるということで、結論としては検討はさせていただきたいと思うんですが、トイレは原則一つでさせていただいております。あとホームレスのことにつきましては、都市整備部と保健福祉部が協力して対応させていただけたらと思います。

【市長】 わかりました。私も教えてください。うちの子が小さいときはよく南江戸公園で遊びました。しばらく行ってないですけど、南側にはトイレはあるんだけど、北側には一切トイレないんですか。南側につくったときに何かつくれないみたいな、下に下水の処理場がありますよね。何かそういうのがあったんですか。

【都市政策課長】 下水処理場の施設の上につくるとなると、安全性が確

保できるようにするためには、お金もかかるということで、現在トイレをつくる場合には、障がい者の方にも対応できるようなトイレをするとすると、費用もかかるというところもございます。

【市長】 なるほど。ちょっと持ち帰らせていただいたらと思います。

【男性】 国体などの件でお伺いします。私らが若いころはソフトボール競技ですが、非常に強くて国体で優勝できるようなチームだったんですが、現在は会社も不景気でスポーツもだめですが、当時は国体強化に強化費とかも出よったんですが、今も継続されているんでしょうか。

【企画政策課長】 企画政策課の河合と申します。よろしくお願ひいたします。愛媛国体に向けた選手とか指導者の育成は、基本的には愛媛県が中心に取り組んでおります。当然、それに付随して強化費も継続はされております。松山市としても、特にジュニア世代の育成とか競技人口の拡大は重要であると認識をしております。直接ではなくて、松山市は市長旗杯各種のスポーツ大会の開催とか、全国で活躍された方々の表彰制度を設けたり、側面的な支援をさせていただいておるところでございます。

【市長】 やっぱりスポーツでいい成績を収めてくれると、やっているほうもうれしいですし、周りにも立派やねって、スポーツする人、観る人、応援する人って三つの存在があるんですけど、する人も楽しいし、観る人もうれしいし、支える人にとってもうれしいものです。私、就任させていただいてから、今、厳しい時代でスポーツ少年団に参加する子どもたちの数が結構減ってきているんです。小さいときから、体を動かす環境になかなかなくなってきたので、スポーツに親しめる環境が難しくなってきた、それがつらいことなので、例えばせつかく全国大会とか行こうと思っても、お金が厳しいから行けないみたいになるといけないので、そういう場合には松山市から補助をさせていただいたり、さまざまな補助制度、サポート制度をつくっております。市長旗杯も国体に向けてジュニア世代の色々な大会が少ないよりは、大会が多いほうが実戦も積めますので、そういう形でさまざま知恵と工夫を凝らしながらやっているところです。できたら、愛媛国体でもいい成績を残せればと思っていますので、さまざまハード面、ソフト面でサポートしてきたいと思っています。

【男性】 市ではごみの山は宝の山というキャッチフレーズでごみを少なくやっておるのには、私も賛同して儉約しております。私が出すごみは、一般家庭の平均の10分の1ぐらいにしております。この運動をもうちょっと進めて、地域で出すごみは地域で処理をするシステムづくりができれば、今のごみが4分の1ぐらいに減らせれるんじゃないかという感じを持っておりますので、市ではどうお考えになっておるかということと、もう

一つ、現在働く世代16歳から65歳まで、あとの人はあまり関係ないような仕組みになっておるんじゃないかと思うんですが、今の日本の現状でいけば3歳のこどもから90歳ぐらいまでのお年寄りまで、みんなその地域で共に支え合って共にやっていく、そういう社会が今、必要でないかと思うんです。そういう仕組みづくりができないかどうか。そうすればそんなにお金もかからないで、地域が幸せにやれるんじゃないかと思っております。どうぞよろしく申し上げます。

【市長】 ごみのことは、松山市全体としてやっていますので、私が申し上げさせていただきます。市役所の壁に懸垂幕が上から下がっていますけれども、皆さんのご協力のおかげで、松山市52万人で四国で一番大きいまちですけれども、50万人以上の都市の中で6年連続全国最少だったのが、去年の暮れに1年延びて7年連続全国最少になりました。非常にありがたいことです。松山市めんどいこと言うなって思われたかもしれませんが、ペットボトルの収集にしても、キャップとラベルと本体を別々にして出してくださいって申し上げてますよね。これにはちゃんと意味がありまして、実はペットボトルだけにして出してもらおうと、今、このペットボトルを材料にしてスーツとかネクタイをつくることのできるんです。リサイクルの原料として買い取ってもらっているんです。そのままグチャッと出されたら、いちいち選り分けないといけないので手間がかかります。人件費がかかるわけですけれども、そうじゃなくてペットボトルだけで出してもらおうと、ごみどころが高い値段で買い取ってもらえるんです。もう、おっしゃったとおりですね。ですので、そのような意味があっでごみ分別をさせていただいております。今、7年連続全国で最少になったものの、2位が迫ってきておりまして、私からも皆さんにお願いしたいぐらいです。一層のごみ減量に努めていただけませんか。って市内に指示を出してしまして、一層のごみの減量化ができないか、今のご意見を参考にさせていただきたいと思っております。それで私から申し上げるのは一つ、こういうごみにかかる経費を義務的経費といいます。どうしても必要な経費です。例えばごみが多いほうがいいか、ごみが少ないほうがいいかっていったら、絶対ごみが少ないまちのほうがいいですよ。見た目にもきれいだし。ごみを収集しようと思ったらごみを収集する人の数が要ります。ごみが多いほどごみを収集する人の数は要るわけです。その人たちに払うお給料が要るわけで、人件費が要ります。ごみを集めようと思ったら、ごみ収集車が要るわけです。ごみがいっぱいだったら、ごみ収集車もいっぱい要ります。皆さんのごみがいっぱいあると、ごみ収集車がなかなか来ないって話にもなります。ですから、ごみ収集車もその分要る。ごみは一般的に燃やすわけですから、

ごみ焼却施設も要ります。燃やせば燃やすほどごみ焼却施設の耐用年数、使える年数も短くなるから、また建てないといけないことになります。ごみは多ければ多いほど経費がかかる、どうしても必要な義務的経費がかかるわけです。じゃあ、ごみをできるだけ皆さんにお力添えいただいて減すことができたなら。今、国自体が1千兆円の借金を抱えているので、地方に回ってくるお金が増えるとはとても考えにくい。仕送りと同じです。親元の経済状態が悪かったら仕送りが増えるとはとても考えにくい。限られたお財布の中でやっていかないけんので、そういう義務的経費は減らして政策的な経費、教育にあたる経費とか福祉にあてる経費を使うことができたなら、もっとやさしい行政ができると思っております。ですので、皆さんにごみの減量、義務的経費を減らすことができればと思っていますので、また2位の八王子市が迫ってきておりますので、そういう意味合いもあってあえて言っていることなんですけど、また皆さんのご協力よろしく願いいたします。

【市民部長】 市民部の吉野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。住民の皆さんが主体となって地域活動をするためには、身の回りの問題は、まず個人や家庭が解決にあたり、個人や家庭で解決できない問題は、その少し大きくなります地域で解決し、それもできない場合は行政が解決するといいます、自分で助ける、共に助ける、公で助けるという自助・共助・公助という役割分担に基づいた行動が必要じゃないかと考えております。そういった取り組みを積み重ねることで、地域の中で一人一人が何らかの役割を得て、小さなお子さんからお年寄りまで地域に誇りや愛着を持てるようになって、それから自分自身の価値が発揮できるようになるんじゃないかと思えます。そうした地域の人々の生き方をはじめ、自分たちの住むまちに愛着と誇りを持って、地域の一員としての自覚を持って地域の発展に貢献するというのを、行政としても期待しておりますのでよろしくお願いいたします。

【中学生】 城西中学校です。お願いします。エコのことについて質問ですけど、愛媛県内ではレジ袋の有料化がされている市があると思うんですけど、松山市はこれからレジ袋の有料化についてどのように考えているのかお願いします。

【市民部長】 市民部の吉野です。よろしくお願いいたします。レジ袋の有料化には、ごみの発生を抑制するだけでなく、石油資源の節約にもつながりますし、レジ袋の削減の一つの方策と考えておりますけれども、事業をされている方の意思統一を図ること、また、市民の皆さんの負担増になるという課題もあります。それで、事業者が実施しておりますレジ袋削

減に向けた自主的な取り組み、そういうことに対して広報や啓発活動を通じて、バックアップしたいと考えています。レジ袋の削減への取り組みとしましては、環境イベント等でのマイバッグの配布や広報まつやまとかホームページでマイバック持参の啓発などを行っておりますので、皆さんも日ごろからマイバックの持参に取り組んでいただけたらと思います。

【男性】 お疲れ様です。今年の春まで城西中学校のPTA会長をさせていただきました。PTA活動をしていく中で、今後引き継ぎという点でお尋ねしたいことがあるんですが、それは給食費の未納問題。中にはどうしても未納されるご家庭があるんですけども、当然まずは学校責任ということで、学校の先生が個別にまず支払のお願いに回るところで、パーセンテージ的にはやっぱり累積で未納のまま、ずっと残る世帯がどうしても出てしまう。こうなったときに給食をストップするというわけにはいきませんので、まずお子様の成長という中でやっていく中で、これは公平に給食はやっていこうと。ただ、残務の問題に関して、これはPTA等々での全体責任になってまいりますので、支払いというところを処理しないといけません。ただ、今後各学校単位での責任という分野ではなくして、給食という公平な配布の中で、この部分に関しての全体的なルールを明確化していただいたほうが、各学校の先生方またPTAの活動の中において、やりやすいのかなというのが引き継ぎの中でございます。その辺に関して松山市としてどうお考えなのか質問させていただきます。

【生涯学習政策課長】 教育委員会、生涯学習政策課の津田と申します。ご質問いただきましてありがとうございます。給食費の未納の問題でございまして、御存じのとおり全国でも昨今話題となっております。教育委員会としても非常に頭を抱えているところでございます。こうした中で、教育委員会では学校を通じて、入学される児童・生徒に対して、お支払してくださいというお願い文書を入学時に書いていただいております。そうした中で教育委員会、学校を通じて支払いのお願いをしている。中には色んな形でお支払いしづらい方もいらっしゃいますので、分納という形でお納めいただいているケースもございます。しかしながら、なかなか100パーセントにはなっておらない状況ですので、今の話もう一度整理をしまして、教育委員会として今後どのように取り組んでいけるものかお答えしたいと思いますので、持ち帰らせていただきたいと思います。

【高校生】 済美高校です。観光のことについてですけど、市長は愛媛国体を開催した後に道後温泉の改修を行うとおっしゃっていると思うんですが、7年間と市は考えていると思うんですが、その間、間違いなく松山市の観光客は減っていくと思います。それに対してどのような対応をして

いくのかを教えてくださいたいと思います。

【市長】 私からお答えをいたします。松山市全体にかかわることを言うていただいても構いませんが、どうぞ皆様方、新玉地区にかかわることで、せっかく地区ごとで開催してますので新玉地区にかかわることで思っらっしゃることがあったら言うていただいたらと思います。観光は今、大きく二つ分けて観光でお客様を増やすにはどうしたらいいかをやっております。瀬戸内海国立公園は松山沖に広がっていますけど、日本で初めての国立公園で、今年80周年になります。80年前に雲仙国立公園、霧島国立公園、瀬戸内海国立公園と三つが指定されました。今年瀬戸内海国立公園80周年です。そして、60年だと還暦といいますけども、その倍、大還暦といひまして道後温泉本館は120周年です。そして四国遍路、四国八十八ヶ所は四国に点在していますけども、1200年。三つが重なる年です。こんな年は今度100年後にしか来ませんから、観光で頑張らないでいつ頑張るんだという年を迎えています。観光というと、つつい楽しいことですから軽んじられる面があるんですけども、そうではなくて、例えば観光地に来ようと思ったら必ず列車とかバスとか飛行機とか車とか、交通を利用します。交通業にお金落ちる。となるとホテル・旅館業にお金落ちる。何も食べないことはないですから、飲食業にお金落ちる。その材料は農林水産業。泊まってほしいと思ったら広告をうちますから広告業。そしてハード整備。建物を建てようと思ったら建築業というように観光業って実に裾野の広い産業です。大きい産業です。国内のお客様を増やすにはどうしたらいいかというところ、大手旅行会社の重点送客キャンペーンがありまして、例えばJTBさんとか近畿日本ツーリストさんとか日本旅行さんとか名前聞かれたことあると思いますが、こういうところって大体半年ごとの重点送客キャンペーンをやっているんです。その場所に選ばれると大手旅行会社の全国の販売網を使って目標を設定してお客さんを四国・松山に送り込んでくれますから、確実な送客が見込めるわけです。これはあんまり知らない行政もあります。松山は1歩も2歩も進んだ取り組みをやってきたから知っていることなんですけども。大手旅行会社の重点送客キャンペーンを6社、さっき言ったところとプラスして名鉄観光、農協観光、トップツアーさんといいますけど旧の東急観光。6社の重点送客キャンペーンを全国との誘致合戦の中で取ってきました。そして海外のお客様に来てもらうためには、国とタッグが組めるかどうかです。おかげ様で去年「新ゴールデンルート」を国が提唱してくれて、今までのゴールデンルートは東京・富士山・京都・大阪だったんですけども、新しいゴールデンルートとして京都・広島・松山となりました。それがさっき出てい

た「瀬戸内・松山」構想。瀬戸内の魅力を磨いていきたいと思いますと松山が頑張ってきたから評価してくれて京都・広島・松山になりました。そのように、国内のお客様を増やす、海外のお客様を増やす取り組みをしてきました。去年6月11日から成田～松山便の格安航空会社が就航したのもその一つ。そして今年の2月に関西国際空港～松山便が就航するのもそういった流れの一つ。台湾の松山空港って同じ名前の空港があるんですけども、台湾の松山空港と愛媛の松山空港に直行のチャーター便を飛ばしたのも台湾のお客様に来てもらおうということのあらわれです。さまざま対策を取っておりますが、道後温泉本館の耐震化は、もう耐震化工事しなければならないということになっていきますから、これはいつか誰かがやらなきゃいけない話です。道後温泉には椿の湯といいまして、松山市営のもう一つ温泉があるんです。あそこができて5年だったら話は違っていたと思うんですが、椿の湯はできて30年なので、あそこを改修させていただいて魅力のある施設にする。そして2017年の愛媛国体は、今の道後温泉と改修された魅力アップした椿の湯の両方でお迎えして、愛媛国体が終わった後は早速、道後温泉本館の耐震化工事に着手する。あれは国の重要文化財なので文化庁とお話をしながら進めていかないといけないんですけども、今の時点は10年半かかると言われていますけれども、工法をできるだけいろいろ研究して、できるだけ短い期間でやりたいと思っています。また、それだけではなくて、道後の回遊性を高める、道後の滞在性を高める。もっと長い時間を松山で過ごすような取り組みもしていきますし、おもてなし日本一のまち宣言をさせていただきましたけれども、おもてなしができると松山の印象がよくなって、1回行ったけれども今度は家族と来ようとか、出張で来とったけれども今度は家族と来ようとか、今度は友達連れて来ようとか。松山気に入ったけん、今度は1泊だけやなくて2泊しよう3泊しようっていったら、2倍3倍の経済効果になっていくので、そのためにおもてなしを去年の3月に言わせてもらったんですけども、滝川クリステルさんが言ったのは9月で、うちが6カ月前に言っていたんですけどね。滝川クリステルさんが広めてくれたと思っているんですけども、さまざま色んな方策をやっているところです。もちろん、無策のまま突っ込もうとは思っていませんので安心していてください。それと皆さんには、いいおもてなしを旅行客の方にしてもらったら。迷っている人がいたら「どこかお探しですか」と声をかけるのもおもてなしだと思うし、坊っちゃん列車に乗っている人は観光客の人がほとんどだと思うので、坊っちゃん列車に向かって手を振るのもおもてなしだと思うし、どこかをバックにして写真を撮ってる人がいたら「写しましょうか」と、例えばご夫

婦で写真が撮れるかもしれないし、それもおもてなしだと思いますので、できるおもてなしをしてもらったら松山の印象がよくなって、また来てもらえるかなと思っています。よろしくお願いします。

【男性】 言うてもどうもならんかもわかりませんが、私は普段、緑化について非常に疑問を持っております。木は植えるがバスバス切ると。西堀端から南堀端にずっと歩道にクスノキを植えておりますが、もうクスノキがかわいそうやなと思います。それから三番町通りも桜の木を植えていますが、桜の木もこれだけ切ってもいいのかと聞きますと、葉っぱが落ちるからと。夏はヒゲムシがわきますから、ヒゲムシがわいとるよ言うたらすぐにやってきてバスバス切ります。消毒はできんからということで。何かにつけ、学校もそうですけれども、あまりにも緑化というか、木を育てるという面が非常に、どこの都市でもそうかもわかりませんが、私が思うのにはほかの都市の緑化について見に行つてほしいなと思つたりもするんです。大阪とか京都とかそうゆうところは本当に木が育つとりますよ。街路樹がね。特にクスノキは空気を浄化するのに一番いい木だと言われておりますね。それを植えるのはいいんですけれども、あれではかわいそうだと思いますね。どうかなと思います。緑化についてお考えを。

【都市政策課長】 ご意見ありがとうございます。まず街路樹ですけども、松山市の場合、大きな幹線道路で植樹帯があるところに街路樹を植えさせていただいております。小さな生活道路には植えられないんですけれども、それではどういったものを植えるかというところで、まず車がたくさん通りますので排気ガスに強い樹木じゃないといけない、木が伸びますので剪定しやすい樹木じゃないといけないといったところを基準にさせていただいております。おっしゃられたように、木、緑は非常に環境に有効でございますので、植えたいわけですが、植樹帯がどうしても狭いところは枝が伸びて車に当たると。まず安全が第一でございますので、どうしても剪定をしないとけないところもございます。松山市内ではプラタナスとか桜であるとか、有名なところでは千舟町古川線、はなみずき通りで、古川のところにはなみずき等が植えられております。松山市の場合は、やはり水も植物ですので水をやらないといけません、水の少ないところですので、そういったところも考慮しないとけない。あと、おっしゃられた他都市のことは、当然また参考にいろいろ研究を進めて、緑をできるだけ多くしたい、植樹帯も増やしたいというところの中で、十分検討して進めさせていただけたらと思います。

【高校生】 済美高校です。よろしく申し上げます。済美高校の前とか松山市役所の前とか県庁の前に、自転車とかバイクとかで来られている方が

多いと。その人たちが路上にバイクとか自転車をとめているから、僕たち高校生とか一般市民の方が通行する妨げになっている状況が起きていると思うんですけど、そこについて何か対策があればお願いします。

【都市政策課】 都市政策課の松本です。一般論として、松山市内では坂がそんなになくて平地が多いということで、自転車等を利用される方が他都市に比べて非常に多いです。自転車を置くところがないと駐輪問題が発生するということで、現在松山市では自転車の駐輪禁止区域を大街道・銀天街方面それと新玉地区でいうJR松山駅のところ、そういうところを定めて駐輪対策をしております。例えばJR松山駅にも市営で置けるところ、大街道にも大街道に面したところに市営の駐輪場ということでしておりますが、どうしても自転車を目的地のできるだけ近いところに置きたい。私の1台だけでもという考えで一人置くと皆さんどんどん置いてしまうというところがありますので、松山市ではそういう自転車の駐輪場をつくるということもありますが、ソフト面での啓発ということで幼稚園や保育園や小学校や中学校といったところ、そういう地元に行って勉強会、交通安全の教室を開かせていただいたりしております。また、駐輪場を設置する事業者、個人の方に対しても、いくつか基準がありますけれども、30台以上つくる場合には市として補助金を出す制度も設けておりますので、何かお気づきの点がありましたら、都市整備部の総合交通課にお気軽にお声をかけていただけたらと思います。

【市長】 今のご意見で、済美高校の前の建物のところにも自転車をとめているような現状があるんですか。

【高校生】 最近はないんですけど、今、目立っているのがあまり関係ないかもしれないですけど県庁前とか、県庁の前ってあそこら辺高校もあつたりして、通勤通学の時間帯とか相当多い人が通ると思うんですけど、やっぱりそういうときに歩道が通れないとか。

【市長】 どの辺に自転車を置いているんですか。

【高校生】 自転車とかバイクを、昨日友達から聞いた話ですけど、通行の妨げになって、ちょっと危ないんじゃないかなってということがあったので。

【市長】 わかりました。そういうときは例えば学校の目の前だったら先生方に言って、自分たちだと言にくいかもしれないから、生徒の意見として「よく通るところなんだけども、ちょっと通りにくいんです。先生なんか言ってくれませんか」とか、県庁の前だったらちょっと離れるから、警察は交通行政を扱っているんで、警察の人に危なく感じるんですけどって言ったら、警察の人が注意してくれるかもしれないし、その辺は上手に

大人を使うんよ。そのために大人がおるんだから。自分でどうしたら解決できるかなって思うと、案外近くにヒントがあったりするからまた活用してみてください。また言ってみてください。そういう気づきはすごく大事なことだと思います。先ほど思い出しましたので、私から剪定の話について述べさせていただきますが、剪定のことはすべてのケースとは申し上げられないんですが、樹木医、木のお医者さんと相談しながらやっているケースもあります。例えば、松山市の堀端には木があって寄生木がついてるものもあるんですけども、私も木がかわいそうじゃないのかなと思って、寄生木^{やどりぎ}ってのけられないのかなみたいな話をしたことあるんですけども、昔は寄生木ってもう全然だめみたいな話だったんですけど、案外最近も寄生木があっても、かえってプラスっていう、寄生木をのけなくてもいいという見方も出てきているそうです。そして、これは昨年の夏だったと思うんですが、松山市には市長へのわがまちメールっていう直接のメール制度がありまして、皆さんの声がダイレクトに入ってきます。去年2回来ていたと思うんですが、JR松山駅前の通りでコミセンの近くだったと思いますが、あの辺の並木に毛虫がわくので毛虫を退治してくださいっていうメールが入ってきました。そこで消毒させていただいたんですが、消毒もタイミングがあって、図りながらやっています。皆さんの税金をいただいてやらせていただいている事業なので、さまざま検討しながらやらせていただきますし、またこれからも至らぬ点もあると思いますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。よろしくお願いします。

【男性】 私、花園町の電車通り、あそこでもう長年住んで市駅前開発の参加をしたんですけど、花壇を取ったらと私が言い出しっぺやったんですけど、花壇を取ったら今度は木がなんか弱ってしまって、あれにまずは盛り土でもしたら生き返るんじゃないかならるかと思とんですよ。できたらお願いします。

【市長】 これについて私専門家ではないので、すべてをわかっているわけではないんですが、あれは私は強剪定といいまして、強い剪定をしすぎたと思っています。私は現場から写真をもらって怒ったんですけども、花園町はせっかくの緑地帯があるんだから、長年のイチョウ並木がある。確か戦災復興で平和という意味合いもあってイチョウ並木をと聞いているんですが、そのせっかくのイチョウ並木なのに強く切りすぎと担当課に申し上げたわけです。案外知られてないのは、イチョウの葉っぱは線路に落ちると油分をもものすごく含んでいて、鉄道が滑りやすいんです。伊予鉄道さんにとってはかなり危ない、迷惑なのがイチョウの葉っぱなのです。ですから、朝早くからシルバー人材センターの方々に出ていただくようにし

て、花園町の電車通りのイチョウの葉っぱをのける。そして、花園町だけで終わったらいかなので、平和通りまで行ってもらって、平和通りのイチョウの葉っぱをのけるのをやっています。イチョウの葉っぱ、伊予鉄道さんの線路の上を滑るといのが頭にあったからかもしれませんが、今までやったことない強い剪定やっちゃったんです。私にも相談してくれたらよかったですと思うんですけど、強い剪定をしすぎたのではないかなって思います。樹木医の方ともまた相談しながら、大事にイチョウ並木はしていきたいと思いますので、その辺を見ながらやっていきたいと思います。ご意見ありがとうございました。

【女性】 三番町六丁目の新玉公園の前に車が1時間200円でとめている駐車場があるんです。そこに昼間はよくパトカーが来てよく切符を切っていくんですけど、夜間に赤い車が一晚中車をとめて、週に3回か4回くらいは、無断駐車でお金を払わないでとめている車をよく見かけるんです。だから昼間だけ仕事を上げるために切符を切るんじゃなくて、やっぱり夜間、早朝も警察の方にそういう無断駐車をしているところを上げてほしいなど。うちも1回切符切られたんで、週に3回も4回も無断で、夜中から私が7時に仕事に出かけるときもまだとめているのに、もちろん貼っていませんし、同じ方なんです。同じ車なんで、そういうところはどうかにならないかなと思ひまして。

【都市政策課】 都市政策課の松本です。ご意見いただきましたので、所轄は東警察署になりますので、市の総合交通課から連絡させていただいて、対応したいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

【市長】 結構、警察の方ってそういう情報は欲しがっているようですよ。市長へのわがまちメールにもこういう違反車両があるんですけどというのがきて、すぐそれは警察の仕事ですとするんじゃなくて、我々から警察に連絡をするんですけども、今、お話を聞くと警察の方は機動性を高めるので、パトカーの体制を強化しているようなので、言ったら結構以前よりは早く対応してくれているようになっているんじゃないかなと、私、全部わかっているわけじゃないですけども、遠慮なく警察に言っただいたらよろしいかと思ひます。我々から今回伝えておきますので。

【女性】 派出所には言っただんですけど。でも全然だめだから。

【市長】 そうですか。今回、必ず我々の総合交通課から言っときますので。

【中学生】 地域でゴミを出すのがすごく早い人がいて、曜日を守らずに出していて、民生委員の方がそれを言っても言うことを聞かない人がいるんです。それでカラスがすごく来て困っているんで、結局は民生委員さん

が分別をする羽目になっているので、対策を考えていただければと思います。

【市長】 これは子どもから言われると、大人は身につまされますね。あまりにも対応が悪い場合だったら、かかわっていかないといけないですね。民生委員さんお困りだと清掃課に伝えときましょう。

【市民部長】 清掃課の担当が今日は来ておりませんので、場所を今日教えていただいて直接伝えます。それから、ここはこういうごみ出しを出さないようにという看板を無料でお配りしていることもありますが、それもあわせてご連絡できるようにしますので、よろしく願いいたします。

【市長】 では、最後になりましたが、私から述べさせていただきます。今日は本当に熱心なご議論をいただきまして、次々に手を挙げていただきまして、ありがとうございます。最初に前回の対応状況をお知らせいたしましたけれども、やっぱり費用の面は大きな部分ではあります。よく皆さんも報道では耳にされると思いますが、今、国が1千兆円の借金を抱えている。日本の人口を1億人とするならば、1千兆円割る1億人で一人当たりどれくらいの借金を抱えているかが計算もできますけれども、やはり仕送りと同じです。国が親元とするならば、地方には地方交付税交付金とか国庫支出金という形で地方にお金が回って来るんですけども、親元が経済的に厳しかったら当然仕送りが増えるとはとても考えにくい。今からは少子高齢化の時代、途中で高齢化の話をさせていただきましたが、少子化ですから皆さんのような働いてこれから税金を納めてくれる人が、これから増えるわけではないです。その中で、お金の使い道はよく考えていかなくちゃいけないわけです。昔は高度成長の時代ってありまして、日本の人口も増えていくんだらうなっていう時代は、いろいろ建てられる時代もあったかと思えますけども、今はもう残念ながらそういう時代ではなくなりました。そして以前に建てた建物をどう維持していくのか。建てたら終わりじゃないですから、建物を建てたら維持していかなくちゃいけない。何をどれだけ持っていくのかも考えなきゃいけない時代になってきました。私もこういうタウンミーティングをさせていただいていますけども、皆さんから「市長これしてください、あれしてください、あれやってください」って言われますけども、市長の人気取りのことから考えたら、「わかりました、それやりましょう、これやりましょう、あれやりましょう」って言ったほうが私も人間ですから楽です。でも、それをやってしまうと将来の子どもや孫にツケを残すことにほかならないと思っています。その時代の人だけがよかったらいいのではなくて、やっぱり我々としてはいい松山を将来の世代に残していかなければならないと思っています。そのためには、

皆さんが今どういうことを思っているのか、真摯に誠実に耳を傾けて、誠実に取り組んでいく、一般には政に治めると書いて政治ですけども、私は誠実に治めていく政治っていうのもやれたらなって思っているところです。今日はさまざまご意見をいただきまして、ありがとうございました。また、1カ月を目途に地元で答えを返させていただきますので、「市から回答が返って来たんじゃないけど、私はこう思うんよ」という、こういうキャッチボールができればと思います。最後に、市役所は分解すると三つの言葉です。市・役・所になりますけども、市民の皆さんの役に立つ所で市役所じゃなきゃいけないと思っています。どうぞ皆さん敷居を高くすることなく、遠慮なく市役所に言っていただいたら、こういう方法ありますよとかその方法はできないんですけど、こういう方法ができますよっていうこともできますので、敷居を高くすることなく遠慮なくさまざま言っていただいたらと思います。今日は寒かったと思いますけども、若干暗かったんですけども、長時間おつき合いいただきましてありがとうございました。また、これからもよろしく願いいたします。今日はありがとうございました。

— 了 —